

Cisco CVP 統合で SpanSoft ASR/TTS を解決して下さい

目次

[Introduction](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

Introduction

この資料記述しますどのようによくある 問題で ScanSoft 自動音声認識 () /Text-to-Speech (TTS) ASR Cisco 音声ポータル (CVP) 統合で解決するため。

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco CVP コール サーバ
- Voice Extensible Markup Language (VXML) サーバ
- ScanSoft ASR/TTS

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CVP サーバ 7.0 およびそれ以降
- ScanSoft ASR/TTS

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

問題

1. クリッキング ノイズは IP 電話の Scansoft TTS の間に聞かれます。
2. Scansoft コンフィギュレーション ファイルでフラグを付けられないスピーチの開始するによりデュアルトーンに探索可能ではないマルチ周波数 (DTMF) barge-in を引き起こします。
3. Scansoft 音声認識 サーバはワイド文字列文法を認識しません。
4. SpeechWorks は統一された CVP を使用しません。

解決策

問題 1.設定この設定:

ScanSoft \ SpeechWorks OpenSpeech Media Server \サーバ構成の下の Scansoft OSSserver.cfg ファイルの server.transport.audio.playerPacketDataSize VXIInteger 160。

問題 2.設定この設定:

ScanSoft \ SpeechWorks OpenSpeech Media Server \サーバ構成の下の Scansoft OSSserver.cfg ファイルの server.session.ossrec.mrcp.startOfSpeechOnDTMF VXIInteger 1。

問題 3.ナビゲートへの \ ScanSoft \ SpeechWorks OpenSpeech Media Server \サーバ\ server.session.ossrec.useWidecharStringGrammarsVXIInteger 0 を追加する設定ディレクトリおよび修正する OSSserver.cfg ファイル

OSSserver.cfg では、セット: server.transport.dtmfPayloadType VXIInteger 101。

問題 4。SpeechWorks Media Server (SWMS) のためのデフォルト 設定は 3.19、OpenSpeech レコグナイザー (OSR) 3.09、ScanSoft からの RealSpeak 4.0.10 変更が統一された CVP を使用するように要求します。これらのパラメータは **OSSServer.cfg** で設定 する必要があります:

OSSServer.cfg ファイルは (MRCP) サーバおよび Webサーバ アプリケーション 設定のため Media Resource Control Protocol (MRCP) です。Scansoft サーバでそれはこの位置で見つける ことができます:

C:\Program Files\SpeechWorks\MediaServer\server\config

名前、型および値エントリはここに示されているで設定する必要があります。値は変更されるコメントアウトを解除する必要があります OSSServer.cfg ファイルをこれらのエントリを反映してもらうために追加される行かエントリ。ほとんどが既にある、ちょうど値への変更を必要とするので各自を最初に探すように気を付けて下さい。

```
server.session.ossrec.useWidecharStringGrammars VXIInteger 0
```

```
server.transport.port VXIInteger 554
```

```
server.transport.dtmfPayloadType VXIInteger 101
```

```
server.session.ossweb.machine VXIString <server_name>
```

```
server.session.mrcpdefaults.nbest_list_length VXIString 1
```

```
server.session.mrcpdefaults.no-input-timeout VXIString 10000
```

```
server.session.mrcpdefaults.completetimeout VXIString 1000
```

```
server.session.mrcpdefaults.incompletetimeout VXIString 1000
```

```
server.session.mrcpdefaults.fetch-timeout VXIString 5000
```

```
server.transport.dtmfTriggerLeading VXIInteger 0
```

```
server.transport.dtmfTrailingEdgeTimeout VXIInteger 2000
```

```
## All DiagTag values should be set to "0" to disable debug and improve performance.
```

```
server.log.diagTag.2000 VXIInteger 0
server.log.diagTag.2001 VXIInteger 0
server.log.diagTag.3000 VXIInteger 0
server.log.diagTag.3001 VXIInteger 0
server.log.diagTag.6000 VXIInteger 0
server.log.diagTag.6001 VXIInteger 0
server.log.diagTag.8000 VXIInteger 0
server.log.diagTag.9000 VXIInteger 0
server.log.diagTag.10000 VXIInteger 0
server.log.diagTag.10001 VXIInteger 0
server.log.diagTag.79999 VXIInteger 0
```

Baseline.xml:

Baseline.xml ファイルでは、呼出される規定するパラメータが swirec_extra_nbest_keys あります ScanSoft が戻すためにキー入力する。このパラメータのデフォルト設定は次のとおりです:

<! ---- XML 結果に ScanSoft 文法キーを追加して下さい。 ---->

```
<param name= " swirec_extra_nbest_keys " >
```

```
<value>SWI_meaning</value>
```

```
<value>SWI_literal</value>
```

```
<value>SWI_grammarName</value>
```

```
</param>
```

既定のコードの結果は下記にあります:

```
Code ( コード ) : <result><interpretation conf="1"><text mode= "音声" >reebar</text>
```

```
<instance grammar= " mygrammar " ><SWI_literal>reebar</SWI_literal>
```

```
<SWI_grammarName>mygrammar</SWI_grammarName>
```

```
<SWI_meaning> {SWI_literal: reebar} </SWI_meaning>
```

```
</instance></interpretation></result>
```

変更はここにあります XML 結果の文法キーを削除するために Baseline.xml ファイルに必要となる。

必要な変更はプログラム ファイル\ SpeechWorks に\ OpenSpeech レコグナイザー\構成\
Baseline.xml ここにあります。

1. Baseline.xml ファイルを開いて下さい。
2. swirec_extra_nbest_keys パラメータをから変更して下さい:

```
<!-- Add a ScanSoft grammar key to the XML result. -->  
param name="swirec_extra_nbest_keys">  
<value>SWI_meaning</value>  
<value>SWI_literal</value>  
<value>SWI_grammarName</value>  
</param>
```

これを、次のように変更します。

```
<!-- XML 結果に ScanSoft 文法キーを追加して下さい。 --> パラメーター name= "  
swirec_extra_nbest_keys " > <value></value> </param>
```

1. Baseline.xml ファイルを保存して下さい。
2. サーバを再起動します。
3. 変更によって、XML 結果は次のとおりです:

```
<result><interpretation conf="1"><text mode= "音声" >reebar</text><instance grammar= "  
mygrammar " ></instance></interpretation></result>
```